



こんなことしてます 三重病院

11月20日(日)~11月26日(土)は、
医療安全推進週間でした。

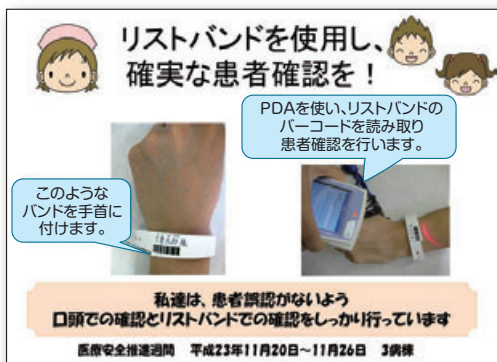
11月25日(いい医療に向かってGO)
を含む1週間を医療安全推進週間とするよう厚生労働
省で決められています。

今年のテーマは「わかるまで聞こう話そう伝えよう」
でした。

三重病院では、各部署で取り組んだ内容をポスター
にして、病院玄関に掲示しました。みなさん、ご覧になり
ましたか？

今回は2つの部署の取り組みについてご紹介します。

外来部門は、各科受付・予約電話等で患者様、ご家族
のお話をよりゆっくりうかがえるように取り組んで
います。



3病棟では、リストバンド装着の見直しを行って
います。リストバンドは入院された患者様に装着をお願
いしています。注射をする時は、PDAという器械を用
いると、装着したリストバンドで薬と患者様の確認が
できるようになっています。また検査やレントゲンな
ど病院のさまざまな場所において患者様を間違ふこと
がないようリストバンドで確認させて頂いています。

入院時には装着のご協力をお願いします。

(医療安全管理室 高木 喜代美)

福祉情報

平成24年4月からの重症心身障がい児(者)福祉はどうなるの？

その2

今回は重症心身障がい児(者)の入所支援関連の変
更点についてお伝えします。

障害児の入所支援は、障害種別だった入所施設が、
医療の要・不要に応じて、福祉型障害児入所施設・
医療型障害児入所施設に再編されます。利用年齢は
18歳までとなり、18歳以上は障害者自立支援法によ
る対応となります。

現行の「重症心身障害児施設」はなくなります。こ
れまで通りの児者一貫したサービスが受けられるよ
う、同じ施設内で児童の施設支援(医療型児童入所施
設)と障害者自立支援法による障害者サービス(療養



医療福祉相談室には 小さな図書コーナーがあります

医療福祉相談室 だより

子どもの病気(難病・発達障害・こころの病気)に関する
ものから、介護する側・される側、子育てのヒントになる
本、話題の本などおいています。
ソーシャルワーカーが面接中の時は
お部屋に入れませんが、それ以外は
いつでもかまいませんので外来・入
院問わずふらりのぞいてください。



「子育てハッピーアドバイス」

明橋大二 作 / 1万年堂出版

「子どもに心配な症状が出るのはしつげがなされてい
ないからでも、わがままに育てたからでもない」問
題がおこると「最近の子どもは」と悪いように言わ
れることがあります。本質はもっと別の所、子ど
もが悪いわけではなく、子どもの自己肯定感の低さ
にあると著者は言います。子どもが自分を肯定でき、
安心感に包まれて成長するには、親はどうしたら
いいのかわかるのか…。医師でスクールカウンセラーでもある著
者からの、これから子育てしようとするお父さんお
母さんに向けた、いろんなヒントやメッセージがマ
ンガでわかりやすく描かれた本です。

(ソーシャルワーカー 高村 純子)

介護)が行えるよう検討されています。児童の窓口は
県ですが、成人は市町が窓口となり、支給決定(障害程
度区分認定)を受ける必要があります。

通所支援・入所支援関連の資料は、「厚生労働省」
や「全国重症心身障害児(者)を守る会」のホームペ
ージでご覧になることができます。新たな情報や移行に
関する決定事項等がありましたら、今後もお伝えして
いきます。

不明な点等ございましたら、通園担当者または医療
福祉相談室までお問い合わせください。

(指導主任 村松 順子)